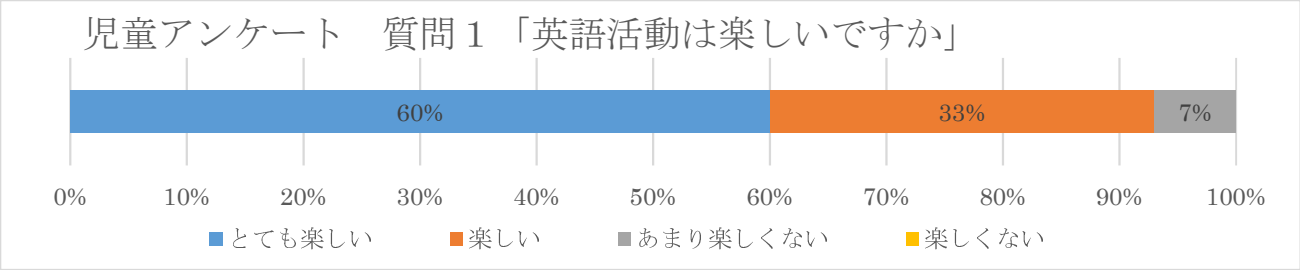
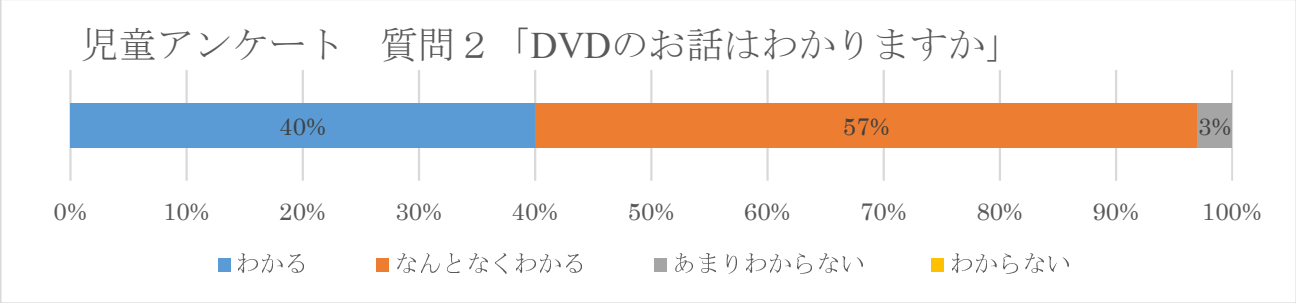
令和４年度特別の教育課程の実施状況等について

１　自己評価結果

令和４年度の１年生から４年生の児童に、アンケートを行ったところ、質問１「英語活動は楽しいですか」に対して、「楽しい」、「とても楽しい」と回答した児童は、全体の９３％でした。また、質問２「ＤＶＤのお話はわかりますか。」に対して、「わかる」、「なんとなくわかる」と回答した児童は、全体の９７％でした。このことから多くの児童は、毎日の英語活動を大変楽しく行っていることがわかります。日常的に英語の発音に触れたり、動作化を通して、体を使った学びをしたりすることで、英語に対する親しみが増し、内容理解にもつながっていることがわかります。しかし、英語活動について「あまり楽しくない」と答えた児童は７％います。その児童は、ＤＶＤのお話を「あまりわからない」と答えていました。内容がよくわかればさらに英語が身近なもととなり、ネィティブスピーカーの英語により慣れ親しむことができます。ＤＶＤをただ視聴するだけでなく、わかりにくい部分を明らかにして復習する場をつくりことで、話の内容も理解できるようにしたいと考えています。

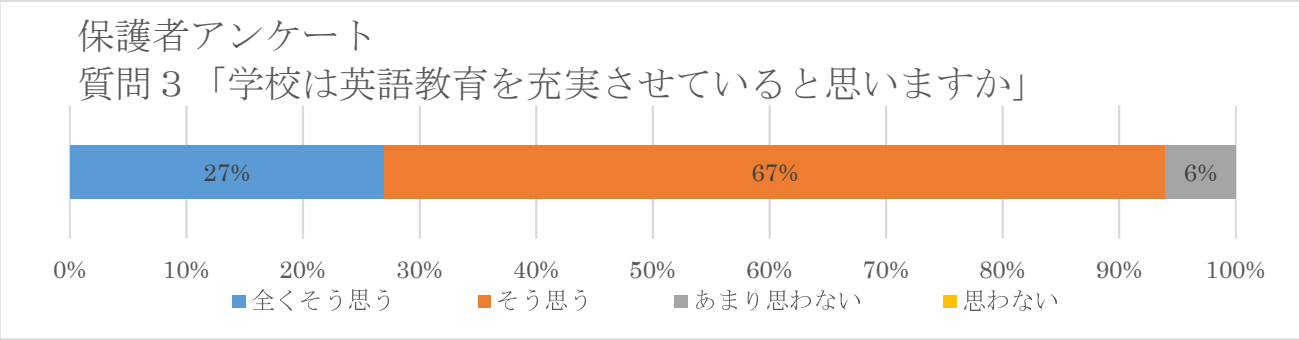




２　学校関係者評価結果

令和４年度の保護者へのアンケート行い、質問３「学校は英語教育を充実させていると思いますか」に対して、「全くそう思う」「そう思う」と全体の９４％の保護者の方が回答し、多くの保護者の方に学校の英語教育への取り組みについて、御理解をしていただいています。また、児童の英語活動の様子を見ていただいた、学校評議員の方々からは、英語活動に対して、「子供たちがよい発音で話している」「１０分という短い時間だが毎日継続してやっているのがよい」「リズムに乗って英語の歌を楽しく歌っている」と好意的な声

をいただいております。日々の英語活動によって児童が英語に慣れ親しみ、英語に対する関心を高めていることを評価していただいております。



３　まとめ

児童のアンケートからは、ＤＶＤを用いた英語活動を毎日、継続的に積み重ねることで、児童が英語を楽しいものだととらえ、かつ英語の理解を深めていることが分かります。少しずつですが、基本的な英会話を自然と口にすることができるようになってきました。

今後も、「世界の人と英語で話したい」「英語の歌を歌ってみたい」というような、主体的に英語学習を進めることができる児童の育成を目指して、英語活動に力を注いで参ります。